



浜松市博物館情報



Monthly Report from Hamamatsu City History Museum

2019.7.15
No.328

原始古代の炊事の変化



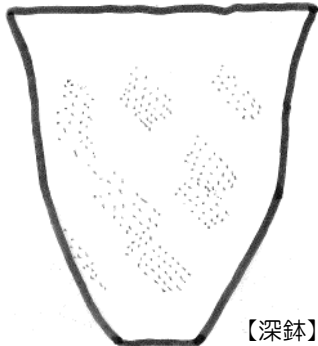
【土器を使用した煮炊きの様子】

当館で大昔サバイバルツアーという大昔の暮らしの体験事業があり、縄文時代の深鉢（ふかばち）や弥生時代の台付甕（だいづきがめ）を模した土器を使用して煮炊きを行いました。石囲いの炉（ろ）に食材と水を入れた深鉢や台付甕を並べ、薪を燃やしました。煮炊きの様子を観察していると、炉の床に直接置く深鉢よりも、脚台の上に甕が付いている台付甕の方が早く沸騰しました。これは台

付甕の底部が炎をしっかりと受け止めることができ、熱効率がかかりよかったですからと考えられます。炎が当たる位置が深鉢は胴の部分になるのに対して、台付甕は底部に炎が当たっています。

深鉢の形の土器は縄文時代に煮沸具として多く使われました。縄文時代の終りや弥生時代になると土器は煮沸具のほか、貯蔵具や供献具に機能分化していきますが、この深鉢の形は弥生時代には甕となり、煮沸具として引き継がれていきます。

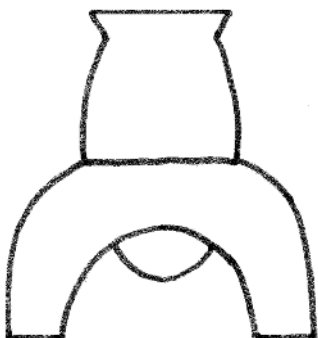
弥生時代中期後半（一世紀）、東海地方西部では甕の底部に脚台が付く台付甕が出現します。台付甕は西日本には普及しませんでした。台付甕は西日本には普及しませんでした。台付甕は西日本には普及しませんでした。



【深鉢】



【台付甕】



【甕と竈】

けて東海地方から関東地方で広く使用されました。東海地方の台付甕の登場は、米を効率的に炊くことができる形であることから、弥生時代中期に東海地方に伝播した米作りによる影響があったのかも知れません。

古墳時代中期（五世紀）には、朝鮮半島から竈（かまど）が伝来します。古代の竈は粘土や石を固めて造られており、甕などを上部に据えて、正面の焚口から薪を燃やして使用します。また、煙道を設けることで煙が外へ排出されるため、家屋の中に設置できます。竈は甕の底に集中して炎が当たり、放射熱も取り込んでしまうため、大変熱効率のよいものでした。昭和三十一年（一九五五）年ごろにガス炊飯器が登場すると竈はだんだんと姿を消していきました。日本において竈は実に一五〇〇年に亘り使用されてきたことになりました。

【博物館所蔵資料の紹介】
移動竈（いどうかまど）



東区有玉南町の西畑屋（にしはたや）遺跡から古墳時代後期から奈良時代（7～8世紀）にかけての携行できる小型の竈が見つかっています。古墳時代中期に朝鮮半島からもたらされた竈は、通常家屋の中で設置されて使用されましたが、持ち運びのできる竈も使用され、全国で見つかっています。

この竈は、粘土を成形し、焼成したもので、手で抱えて運べる大きさです。焚口は正面に一箇所ですが、甕などを落とし込む受け部は2箇所あります。移動竈は、川岸で、土製の人形や馬形を使い祭祀を行った場所から見つかっており、祭祀に際して神様へお供えする食事や、祭祀後の直会（なおらい）の食事を用意するために使用したのちに廃棄した可能性が高いものです。

現在でも、毎年2月28日の中区三組町の秋葉神社の例大祭では、境内に竈を設けて神事を行っています。

また、目的は違いますが皆さんのまわりで移動竈を見ることができます。たとえば、金属製で正月の餅つきもち米を蒸す時や、防災訓練の炊き出しなどで竈が活躍しています。

催し物のご案内

★テーマ展「商いのしるし」

7月13日（土）～9月16日（月）

●ギャラリートーク

7月27日（土）、8月9日（金）、8月30日（金）
午後2時～（約30分）



【通い德利】

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

8月10日（土）午後2時～

会 場：蛸塚公園内旧高山家住宅

参加費：無料

※事前申込み不要。直接、会場へ。



★夏休み体験館

7月22日（月）～8月25日（日）

《期間中毎日開催》

まが玉づくり

クイズラリー

《週ごとに替わる体験》

風鈴絵付け体験 8/5（月）～8/10（土）

オリジナルうちわづくり 8/12（月）～8/17（土）

など

※定員を設けているイベントもございます。各イベントの内容、開催日時、費用など詳しくは博物館HPをご覧ください。



浜松市博物館

開館時間：9時～17時

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

7・8月の休館日：7/8～12、16、8/26

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/